

ジュニアオリンピックローカルルール

①点差がついた場合

・6点差がついた時点の開始後から、4分・5分計をとめずに試合を行う。点差が縮まっても、時計はとめない。残り時間30秒の得点后、およびペナルティ取得時のみ時計を止める。得点后と協議やケガなど審判の判断によりプレーを中断した場合をのぞき、時計は止まらない。

・6点差がついた後は、タイムアウトは取得できない

・A・C区分は1ピリオド、B・E区分は2ピリオド終了時以降、10点差がついた時点で試合を終了する。(1(2)ピリオド終了までは点差に関わらず行うが、終了時点で10点差がついている場合、2(3)ピリオドは開始しない)

※ただし、決勝トーナメントについては適用しない。規定通り試合を行う。

②タイムアウト

・全区分、1試合2回とする。

・予選において6点差がついた時点よりタイムアウトは取得できない。間違った請求があった場合、タイムアウト請求はなかったものとして競技を続行する。

③ゴールキーパー

・13番はフィールドプレーヤーとしても出場できる。

・1番以外の選手も1番と帽子を変更してゴールキーパーとして出場でき、またフィールドプレーヤーに戻ることも認める。ただし、帽子の交代は、怪我などの場合をのぞき、ピリオド間、およびタイムアウト取得時に限る。

④ペナルティシュート戦

予選ブロック・予選リーグ

・各チーム5名をメンバーに選出した後、3人までの結果で決する。3人で決まらない場合は、4人目以降のVゴール方式とする。リーグ戦でもPS戦を行う。

決勝トーナメント

・規定通り行う

⑤ベンチ交代

夏

・3面展開時でも、ベンチ交換を行う。(予定。会場の都合で変更になる場合がある。)

春

・3面展開時(予選トーナメント)までは、ベンチは交代せず、審判が1ピリオドごと交互に交代して試合を行う。

※夏・春とも決勝トーナメント以降はベンチ交換をルール通り行う。

⑥コールドゲーム時の得失点の扱い

・得失点の対象となる試合がコールドゲームのみの場合、①10点差以上の場合は、得点差、

②10点差で並ぶ場合は、コールドゲームとなった時間を総得点よりも優先する。

⑦メンバー変更について

・予選会後のメンバー変更については、定められた書式を決められた時間までに必ず提出する。本選申し込み時までに、メンバー変更届とメールによる届け出がされた場合、プログラムには変更後のメンバーが記載できる。

・本選申し込み後のメンバー変更については以下の通りとなる。

1 メンバーの追加・変更については、予選申し込み時に他チーム、他区分に所属していない選手にかぎる。メンバーに入っていない場合でも、予選申し込み時に他チーム、他区分に所属している選手は追加・変更できない。

2 本選申し込み後の帽子の番号の変更については、ゴールキーパーに関わる番号のみ認める。ただし、この変更は監督者会議終了時までに限る。監督者会議後は試合開始前の変更はケガなどの特別な事情をのぞき、正規のルール、および上記③に基づき変更していく。

例：1番と8番の変更→認める

例：13番と5番の変更→認める

例：2番をあいている13番への変更→認める。ただし、本来本選申し込み時に行うべき変更である。

例：2番と3番の交代→認めない。単純な番号の変更は認めない。

例：1番がけがのため、欠番として、2番をあいている13番にする→認めない。ゴールキーパーは1番へ変更する。ただし、J OではGKとフィールドプレイヤーの交代を認めている。

3 帽子が壊れたなどの理由で帽子の番号を変更することは試合前であってもできない。大会本部では帽子の予備の準備はしない。

⑧試合の進行について

・以下の条件で試合するコートを変えることがある。

1 片方のコートが空き、もう片方のコートで行う試合が残っている場合

2 試合開始予定時間を過ぎている場合

3 当初の試合順が入れ替わるような変更は行わない。

※台風や交通の乱れなど不測の事態については、上記の条件に関わらず、試合方式を含め、大きな変更を行う場合がある。